

W. Coと地域でつくる大津ヶ丘商店会

にぎやかにハロウィンパーティー

シャッター通りを逆手に取った、地域参加型イベント「ハロウィンパーティー」が10月31日(土)、大津ヶ丘中央商店会主催で開催されました。柏市大津ヶ丘の商店会には生活クラブ虹の街のデポがありW. Coういずも居場所づくりをしています。人通りもまばらで閑散とした商店会ですが、なんとか地域を活性化させたいと非日常を演出するアートな企画として考えられたのがハロウィンパーティーです。



目玉は、東京理科大の学生有志が近隣の幼稚園と小学校の子供隊が描いたお化けの絵をパソコンに取り込み映し出すプロジェクションマッピング。お洒落なポスターが評判となり、JCOMのケーブルテレビでの放映や朝日新聞に掲載されました。また(株)ニッカの提供でウィスキーカクテルバーや、市内31軒の地元農家の野菜や花鉢販売、ワーカーズあい・惣菜やW. Co紙ふうせん、W. Co樹 グラッセも出店し、Trick or Treatでは仮装した子どもたちで賑わいました。商工会や行政、民間企業そして小学校や幼稚園とつながり、今後の商店街活性化に向けて秋の大きな収穫となりました。

W. Coういず 北田恵子



リニューアルしたデポ大津ヶ丘

生活クラブ虹の街デポ大津ヶ丘は大津ヶ丘商店会の中にあります。25周年を迎えその節の今年、2回目のリニューアルをしました。

商店会や地域の人たちと共にという気持ちで「(大)きく(小)なごろう 大津ヶ丘」を合言葉に毎月2回のマルシェ、青空食堂などのイベントを開催し、地域の方にも参加していただいています。また、7月の柏市プレミアムチケットでは、W. Coういず スペース結が販売店に、デポではお買い物に使用できることで商店会に人が集まるようになりました。

これからも商店会全体でにぎやかにし、気軽に地域の人たちが立ち寄れるデポにしていきたいと思ひます。

W. Co樹 理事 新谷美枝子

千葉県人権啓発指導者養成講座でW. Coの働き方を紹介

弱い立場の人たちが安心して生活できる、差別のない社会をコンセプトに千葉県人権啓発指導者養成講座の1日目(10/6 4講座)を、W. Co風車が千葉県から受託しました。講座の内容、講師選びから資料の準備、当日の進行などを担いました。



北田理事長

その中の1講座「地域を担う女性の役割」を、W. Co千葉県連合会の北田理事長が講師として登壇しました。少子高齢化など社会の変化とともに、地域における女性の役割も重要になってきています。地域に必要とされる仕事起こしと街づくりに取り組んでいるW. Coの働き方と今後を、人権に絡めて話しました。企業や行政から100人以上の受講者があり、W. Coの働き方を多くの人に知らせることができ、今後につながっていくのではないかと期待しています。 W. Co風車 猪俣悦子

★今回入賞した方々には、事業所を通して賞品(ドリッパ森のコーヒー)をお届けします。
★お仕事川柳は、随時募集しています。連合会事務局までお寄せください。

お仕事川柳!
我が家より 長い居場所の ワーカーズ(少女2/風車)
配達で 認定もらう シミとシワ(アッキー/あい配送)
定年の 夫と逆転 ワーカーづま(花子/風車)

広報委員会では読みやすく親しみある紙面を目指して、今回からW. Co「お仕事川柳」コーナーを設置し、W. Coの皆さんから広く募集しました。

わくわく work ちば 105 2015. 11

ワーカーズ・コレクティブ(W. Co)とは…

同じ目的を持った仲間が作り出す、地域に有用な事業/出資・労働・経営を全員で担う/働くことを通し、社会的・経済的・精神的自立をめざす



私たちの仕事は 365日!



社会福祉法人生活クラブ風の村(以下風の村)の施設厨房の請け負いが始まって5年目になります。現在、事業を行っている3つのW. Co(W. Coまどれーぬの渡嘉敷寿子さん、W. Coハーブの長谷川利恵さん、ワーカーズあい・惣菜の西村憲子さん)に集まっただき、厨房業務の現状と課題などをインタビューしました。

W. Co	施設名	提供している食事	食数/日	人気メニュー	開始年月	
まどれーぬ	風の村いなげ 風の村あかとんぼ稲毛	サ高住*, ショートステイ, デイ, 障がい児デイ	365日 朝・昼・夕・おやつ 昼, おやつ (昼, おやつ)	200	炊き込みご飯 天ぷら	2011. 8
	ライフ&シニアハウス市川	有料老人ホーム	365日 朝・昼・夕(希望者)	130	タコライス	2013. 4
	風の村重心通所さくら	障がい者デイ	昼	15		2013. 7
ハーブ	風の村とんぼ舎さくら	障がい者デイ	昼	35	揚げ物	2013. 8
あい・惣菜	風の村サポートハウス流山	サ高住, デイサービス	365日 朝・昼・夕・おやつ 昼・おやつ	200	シューマイ, 天ぷら	2014. 7

* サービス付き高齢者向け住宅のこと。

★W. Coで施設厨房の食事作りを受けることになった経緯

風の村が施設を作る時に、厨房業務は生活クラブの消費材を使いこなすための事業所が必要で、複合施設であるいなげビレッジは生活クラブグループの総合力でつくられることもあり、W. Coが参画していくことになった。それがきっかけとなり、その後の風の村の新しい施設でもW. Coが参画している。

★W. Coで請け負うことの意義は

・高齢者施設での人生終盤において、食のことを大切に、生活クラブの食材で、おいしい食事を食べてもらいたいと思いました。

また、実際に食事を楽しみにもすることも認知症が軽くなる1つの要因なのではないかと思えることもあります。

・新しいW. Co事業所開設は地域で働く場を創出するだけでなく、事業所で消費材を使用することで、料理をするW. Coメンバーが虹の街の組合員にもなりました。



ワーカーズあい・惣菜



まどれーぬ

★施設厨房の仕事をしてよかったことは

・直接「おいしかったよ」の声が聞けること。
・今まであまり接することのなかった障がいのある人や、その家族への理解が進んだこと。

★苦勞していることは

・化学調味料や味の濃い食事に慣れた利用者の方にとっては、物足りない、美味しくない、と言われることもあります。素材の良さや安全性にこだわり、伝えていきたいと思ひますが、見た目や慣れた市販のおやつを希望されることもあり、手間をかけても報われないこともあります。

・365日3食なので、全体で休むことができない。特に正月の業務に入る人は決まってしまう。

★今後の夢は

・施設に来所できず、食事作りに困っている人に配食したり、訪問して作るケータリングサービスなどやってみたい。

9月28日に東京の社会福祉法人悠々で食事作りをしている「W. Co結女」を見学し、東京のW. Coパワーを感じてきたとのことでした。今回の座談会の盛り上がりを見て、施設厨房を請け負っているW. Co事業所が集まり、情報交換や業務向上にむけて話をする機会が必要であると感じました。(広報委員 安岐、中村)